
ある貴族の物語

八十四歳まで生きる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある貴族の物語

【Nコード】

N0023E

【作者名】

八十四歳まで生きる

【あらすじ】

魔王は討たれ平和な世の中。広大な王国領に住む人達の話。

第1部：ペルトリン（前書き）

平和な世の中なので、戦闘はあまりありません。ついでに暴言が目立つかと思えますので、苦手な人は避難してください。すいません

第1部：ベルトリン

今月のダンジョン。

著：ターマネーギー

今月紹介するダンジョンはここ。

「イスラバ大空洞」である。

筆者は一度だけ、内部に立ち入ったことがあるが、強暴な魔物が多数出現したため残念ながら退却を余儀なくされた過去がある。

そんな経験があるからこそ筆者は、ここはダンジョン上級者にしか勧めることはない。

そんな危険なダンジョン、読者が気になるのは財宝だということはわかつている。

ここで財宝目撃情報を・・・

「くだらない」

男は雑誌を閉じた。男の名前はベルトリンⅡポーニユ。

ロードワルト王国領ミネス島を任される貴族、デルトリンⅡポーニユの息子として生まれた男。母親は幼い頃に病で死んだ。現在は父親と二人で広い屋敷に住む。二人というが、使用人なども一応いる。

ベルトリンは今、父親と喧嘩をしている。他愛もない親子喧嘩ならいいのだが、かれこれ二三年は口をきいていない。

ベルトリンは領民に馬鹿にされている。それどころか、殴る蹴るの暴行を受ける始末。

理由はベルトリンの性格だ。貴族という立場を武器に、意味もなく威張り散らすのだ。

もちろん、口だけである。

一方デルトリンは、息子のそんな態度を改めさせようと、領民の息子に対する暴言や暴行を黙認している。

デルトリンの考えでは、ベルトリンが領民に、誠意や威厳を示せば暴行などは止むのだ。

だが、ベルトリンは行動しようとしな。むしろなにもしてくれない父親に対し不満を爆発させたのだ。

デルトリンもそれには、さすがに勘忍袋の緒が切れた、というわけだ。

そしてこの度、ベルトリンもさすがに、このままではダメだと奮起した。

ダンジョンに挑むことにしたのだ。

このごろ、王国領内ではダンジョンに挑むことが、いい男のひとつのステータスとなっている。

所謂、魔物と呼ばれる人を襲う生き物の王である魔王、この魔王も第一、第二、第三魔王といたらしいが、勇者バルティンの手により討ち倒されたらしいので、ベルトリンの時代は比較的平和なのだ。

よって、娯楽目的で魔物の巣に乗り込み、怪我をする阿保も出ている始末。

そこで有志によって、ダンジョン管理委員会なるものが結成された。これにより、ダンジョンに気軽に挑戦できるようになったのだ。

そこにベルトリンは目をつけた。

ちょうど都合のいいことに、ベルトリンの屋敷の近くにもダンジョンがある。

ここは領民の肝試しや力試しの場にもなっており、深部に辿り着ければ一人前として認められるのだ。

ならばとベルトリン、まずはダンジョン関連の雑誌や書籍を読み漁り、イメージトレーニングをしていたのだ。

「くだらない。」

イメージトレーニングを終えたベルトリンは、装備を調べダンジョンへ向かうのだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0023e/>

ある貴族の物語

2010年10月28日04時21分発行